プレジャーニュース
Pleasure News
2019年 8月号
発行所:
㈱カワモトプレジャーグループ
〒639−3125 奈良県吉野郡大淀町大字北野25−1
TEL.0746−33−2011



大阪府内の基幹病院で28年間、脳神経外科医として勤めた山中一功さんは、「患者さんが、急性期治療後、回復期から維持期に専門的なリハビリを受けることができる病院が少ない」ことを知り、それなら、自ら作れば良いと、賛同してくれたセラピストと共に、脳卒中の再発防止および機能回復のリハビリテーションを目的とした「山中脳神経外科・リハビリクリニック」を平成29年に開業した。また、今後の〝脳外科医のセカンドキャリア〟を自ら体現して後進の開業支援の道しるべになれればとの思いや最新のリハビリテーションの事情などについて、川本高広と対談した。

〝セカンドキャリア〟自ら体現
脳外科の経験 次のステップへ

川本　脳神経外科、脳卒中、脳血管内治療の専門医としての経験を持つ山中先生がクリニックを開院したきっかけをお聞かせください。

山中　私は今まで勤務医として、主に脳神経外科の手術や救急を担当していましたが、外傷や脳血管障害での手術の限界を感じていた事から、〝脳外科医としてのセカンドキャリア〟をどうするか考えるようになったのがきっかけでした。

　脳卒中や脳挫傷などで壊れてしまった脳は手術で戻すことはできませんが、リハビリでは機能回復できます。しかし、退院後のリハビリを考慮したとき、脳神経を専門としたリハビリ施設が少なく探すのに苦慮した事もあり、「開院するなら脳卒中リハビリができるクリニックがいいかなあ」と漠然と考えている頃、友と何気なく現状の話をしていた時、運命的な出会いもあり、とんとん拍子に1年で開業することになりました。

　何よりクリニックの周辺には、これまで勤務した病院や脳外科の友人の勤務施設が多い事から、「脳外科の専門としたリハビリテーションを提供できる受け皿ができる！」と確信し、また、「地域連携もとれる！」と開業しました。

川本　それでは、リハビリテーションを取り巻く問題点や課題点はありますか。

山中　現在、リハビリテーションが直面している問題に、医療保険と介護保険の事があります。今年4月に制度が改定されましたが、それまでの制度では、維持期のリハビリテーション（脳卒中発症180日以降など）は、介護認定を受けている方でも医療保険で受けることができましたが、現行制度より、介護保険を持っている方の医療保険による維持期リハビリテーションは廃止となり、リハビリを受ける場合には介護保険でのリハビリ（デイケア＝通所リハビリ、デイサービス）か自費リハビリの選択しかなくなりました。

川本　そうなると、介護保険で受けることができる支給限度額の限界を超えてしまい、実費になる恐れが出てきますね。

山中　そうなんです。患者さんの介護度（要支援1、2、要介護1、2、3）によってリハビリに充てる介護料が少なくなる可能性があり、サービスの優先順位によってはリハビリを受けれなくなってしまう「リハビリ難民」と呼ばれる患者さんが増えることが懸念されています。

　しかし、医療保険の破綻が騒がれている以上致し方ない所もあります。また、悪いことばかりではなく、厚労省は通所リハビリ施設にセラピストがいると、医療保険でなくともADL（人が生活を送るために行う活動の能力）の改善や維持に良いというデータも出しています。

　ただ、実際にはケアプランを立てるケアマネージャーが、自身の係わりのある通所介護施設へ入れる流れがあったり、制度をあまりよく理解してない方がいたりと、まだまだ問題は山積しています。

川本　国も山中先生が開院された「通所リハビリ施設」の必要性を指摘しているのですね。こういった脳外科の学びの場として、始められたのが「Medical cafe」なんですよね。

山中　はい。「Medical cafe」では2カ月に1回、脳神経外科領域についてお話をさせてもらっています。7月には実際に脳梗塞を発症された方とも講演させていただきました。次回は、9月を予定しています。

　脳神経外科というと、通常、命に係わる手術のみを扱う診療科として認識されているかもしれませんが、実は勤務医時代、内科的な疾患や四肢骨折などの患者様であっても、手術や緊急性の必要もないごく軽微な脳疾患を合併されていると、全て脳外科医が対処させられるという現実がありました。

　確かに、身体の全ては脳の影響を受けているため、そのコントロールを主とした診療科は脳外科しかないからだとは思います。その結果、〝生活習慣病〟である高血圧や脂質異常、糖尿病の管理、また骨粗鬆症や肝臓疾患などの治療に携わってきた事で、それらを予防することが脳卒中予防に繋がることを、広く一般の方にもお伝えできるようになりました。

　今後、人口減少に伴う医師過剰や、人口分布による高齢者増の時代になると、まだまだ受け皿の少ない脳卒中を扱う外来リハビリテーション施設や再発を防止する為のクリニックの必要性を考えたとき、私と同じ脳外科医の「セカンドライフ」の羅針盤というか、先駆けになれれば、という思いとその開業した脳外科医との協力体制もできればと考えています。

山中　一功（やまなか・かずのり）　兵庫県出身。平成2年、大阪大学医学部脳神経外科学教室に入局。脳血管障害の外科手術や再発予防治療を専門に多くのオペを手がける。同16年、独立行政法人国立病院機構大阪医療センター脳神経外科の医長に着任。同29年に山中脳神経外科・リハビリクリニックを開院してからは、生活習慣病（高血圧、高脂血症、糖尿病、不整脈など）の治療に加え、歩行障害や嚥下障害、失語症などによる日常生活動作改善を目指す総合的なリハビリテーション治療にも注力している。

山中脳神経外科リハビリクリニック
〒545-0001
大阪市阿倍野区天王寺町北3-11-4
TEL 06-6710-1515
https://yamanakacl.com

Medical Cafe in Cafe Beaute

　認知症や頭痛など毎回違ったテーマで2カ月に1回、心斎橋のカフェボーテにて開催している。さまざまな分野で活躍する現役のドクターがエビデンスや正しい情報に基づいて、今日からでも実践できる事をわかりやすく伝える。次回は9月を予定。詳細は決まり次第、公式ホームページで発表される。

https://yamanakacl.com/

適切な指導と自立に向けた支援が充実

障がいをもつお子さまから成人の方を対象に、集団生活・社会生活に適応できるよう適切な指導と自立に向けた支援をおこないます。将来的には、就労支援・生活介護・ショートステイ・グループホームと展開し、地域での生活を目指し、トータル的な相談窓口として皆さまをサポートしてきます。

放課後等デイサービス げんき
居宅介護支援事業 桜寿（おうじゅ）
生活介護事業 げんき倶楽部
相談支援事業 みらい

㈱カワモトプレジャーグループ
〒639-3125 奈良県吉野郡大淀町大字北野２５−１
お気軽にご相談ください。 TEL.0746-33-2011 http://kawamotopleasuregroup.com/